

●次年度に向けた改善方策

①数値目標は、下記項目を設定する。

○授業研究や校内研修を積極的に進めて授業内容を改善し、生徒が理解しやすい授業にする。

「授業の内容はよく理解できる」という生徒の割合 80%をめざす。

○学校生活の諸活動を通して、生徒が互いに尊重し、認め合う心を育成する。

「友達と学校で活動することは楽しい」という生徒の割合 85%をめざす。

○「学び舎」と地域の連携活動をより充実させ、地域とともに育てる教育を推進する。

「地域の活動や行事によく協力してくれる」という地域の割合 80%をめざす。

②生徒の「授業内容がよくわかる」との高評価を維持しつつ、保護者の「子どもたちにとって分かりやすい授業が行われている」の評価も向上させていくようにする。

・指導技術を高める等授業改善を図り、基礎的学力の定着を確実に行う。

・タブレットやデジタル教科書等 ICT 機器や視聴覚教材を効果的に活用し、「わかる授業」「意欲を引き出す授業」を展開していく。

・保護者に積極的に授業参観を促し、授業参観や授業公開週間の保護者参観者数を増加させる。

③生徒が学校生活の諸活動に積極的に参加し、学校で友達と活動することが楽しいと感じる割合を向上させていく。

・教科や委員会・係活動等の学級活動、行事への取組などを進める中で、生徒の自己肯定感や認め合う心を育てていく。

・「特別の教科 道徳」の授業や「人格の完成を目指して」の月ごとのテーマを通して、他者を尊重し、認め合うことの大切さに気付かせる。

・今年度実施した「あいあいタイム」を引き続き実施する等、スクールカウンセラーも含めた教職員全体で、生徒・保護者への面談など相談機能を充実させていく。

④学校からの情報発信機能の充実を図る。

・学校便りや学年便りによる発信に対しては高評価を得ており、今後も継続しさらに内容を充実していく。

・ホームページの全体構成の見直しを図り、学校生活の様々な場面における生徒たちの諸活動や飛躍する様子を、できるだけ迅速に掲載していく。

●前年度の改善方策について実行した改善結果

①重点目標は「確かな学力の育成」「認め合う心の育成」「地域との連携」を掲げた。数値目標は全項目 80%とした。内容・実施策等を検討し、充実を図った結果 3 項目中 2 項目で目標値を上回った。

- ・授業改善を推進し、肯定的評価が 82%となり、高い評価を得た。
- ・学校生活の様々な場面で、生徒相互の認め合う心の育成を推進し、91%の高い評価を得た。
- ・地域からの評価は、肯定的評価が 78%と、目標に達しなかった。校舎改築工事の影響で、地域の方々に来ていただく機会が著しく減ったことが要因と考えられる。来年度は新校舎にランチルームが増設されているので、そこをうまく活用し、地域の方々に関わっていただく機会を増やしていく必要がある。

②授業内容を工夫・改善し、生徒が理解しやすい授業にする。

- ・生徒アンケート「授業の内容はよく理解できる」の肯定的割合は 82%、「先生は黒板の書き方やプリント等を工夫し、わかりやすい指導をしている」の割合は 84%と概ね良好の結果だった。タブレットやデジタル教科書等 ICT 機器の効果的活用、教科プリントやノートを提出させて定着度をはかるこまめな指導、習熟の程度を把握して学習集団を編成し、その集団に適した教材を用いた指導等が効を奏した。
- ・保護者アンケート「子どもたちにとってわかりやすい授業をしている」の肯定的評価は、63%と昨年度より微減している。今後は、保護者が「子どもたちにわかりやすい授業をしている」と実感できるように、さらに授業方法の工夫・改善を行い、多くの保護者に授業を参観していただく機会や方法を工夫する。

③生徒一人一人が自己肯定感・有用感をもてるよう主体的に活動する機会を計画的に設定する。

- ・生徒会や各学年が中心となって行う行事では、学級委員、実行委員、合唱コンクールの指揮者、パートリーダー等主体的に生徒が活動する場を設定した。そのことによって、やり遂げた満足感とともに自己肯定感・自己有用感をもつきっかけをつくることができた。

④学校からの情報発信機能のさらなる充実を図る。

- ・情報発信に関して、どの学年も定期的に子どもたちの学校生活を網羅する内容の学年便りを発行し、高い効果を得た。学年便りについては、どの学年も各家庭からの返信欄を必ず付けているので、学校からの情報提供だけでなく家庭からの声を直接聞くことができる貴重な情報伝達手段となっている。今後も更なる内容の充実を図っていく。
- ・ホームページについては、昨年度よりも「わからない率」が微増した。内容もさることながら、まずアクセスしてもらいやすい工夫をし、情報発信のツールとして活用できるようさらなる改善を行っていく必要がある。